

# 平成 2 3 年度事業計画及び収支予算書

財団法人群馬県馬事公苑

## 平成 2 3 年度財団法人群馬県馬事公苑事業計画及び収支予算について

### 1 . 事業計画

平成 2 2 年度は、国内景気は回復基調にあるとはいってもその日常生活にその実感が持てない中であって、新規利用者の誘致、リピーターの確保や安全に乘馬を楽しんでいただくための様々なサービスの提供を実施してきたところであります。

その結果、平成 2 3 年 2 月末現在の利用実績は、主要事業である通常乗馬の利用鞍数は夏季の猛暑による新規利用者の減少や他団体馬術競技会の施設利用が原因し対前年比 9 3 . 0 %、企画事業では公苑大会は増加しましたが、その他の乗馬教室が振るわなかったことなどにより対前年比 9 9 . 2 %、その他施設利用の減少で事業全体の収入においても対前年比 9 4 . 3 %の減少となっております。

平成 2 3 年度は、先に発生した未曾有の東北地方・太平洋沖大地震により社会情勢の激変、長期に亘る経済に与える影響が懸念されますが、馬事公苑施設における乗馬提供は県民に広く公平に開かれた施設であることを基本に安全な乗馬の確保、サービスの充実及び 7 月から 9 月の期間に開催される群馬 DC への協力事業などの実施により県内外からの誘客に努め乗馬人口の底辺拡大と定着化を図るほか、各種教育機関や関係団体と連携した公益的な事業活動にも力を入れ、経営収支の安定化と効率的な管理運営にあたります。

また、新公益法人への移行については、平成 2 3 年度中の認可申請に向けた事務手続きの作業を所管官庁と調整を行っており、併せて新財団における機関設計の整備などを移行スケジュールに沿って進めてまいります。

#### ( 1 ) 委託管理事業

「群馬県馬事公苑の管理及び運営に関する基本協定書」及び「群馬県馬事公苑管理及び運営に関する年度協定書」に基づき、群馬県馬事公苑の設置および管理に関する条例に従い、馬事公苑を管理し、県民の動物愛護心を涵養するとともに、馬に関する知識の普及と理解の促進、乗馬技術の向上に努める。

##### ア . 委託事業の実施

通常乗馬（高校生以下の乗馬利用料金は減額）と引き馬乗馬等のサービスを提供し、利用料金収入の増収を図る。

##### イ . 施設の維持管理

来苑者が安全かつ快適に利用できるように、馬の良好な飼養管理と乗馬環境の適正な維持管理に努める。

## (2) 主な企画事業

### ア．乗馬の普及・啓発事業

乗馬を始めるきっかけや楽しさを提供するため、インストラクターが基礎・基本がわかりやすい指導を行うとともに、利用者が満足感を得られるサービスを実施し、乗馬人口の定着化と拡大を図る。

#### (ア) 大人のための短期乗馬教室

18歳以上の一般県民を対象にした乗馬教室の受講料金を減額し、広く利用機会を提供することにより、潜在的乗馬愛好者の掘り起こしを図る。

#### (イ) ステップアップ特別乗馬教室

短期乗馬教室修了者を対象にしたステップアップ特別乗馬の実施により、継続利用によるリピーターの確保を図る。

#### (ウ) 平日無料体験乗馬会

初心者を対象に乗馬を身近なものとして体験してもらう。

#### (エ) あいぷろホースライディング交流会

県が未婚化対策として未婚者の結婚を応援するため推進している「ぐんま赤い系プロジェクト(略称:あいぷろ)」事業に協賛、乗馬イベントの開催により新たな利用者拡大を図る。

#### (オ) 現代の多様な生活スタイルに合わせた体験乗馬会

初心者を対象に昼間及びナイターの乗馬を手頃で体験できる機会を提供する。

#### (カ) 障害者の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

#### (キ) 積極的なPR

「馬に乗ってみたい」という潜在的乗馬愛好者に対して、広く馬事公苑の存在をアピールするため、積極的にセールス活動を展開するとともにイベント開催等の広告宣伝を行う。また、7月から9月の群馬DC開催に併せ各種広報媒体を活用した周知を図る。

### イ．青少年の健全育成事業

次世代を担う子どもたちに動物とのふれあいの場の提供と動物愛護の精神を養うとともに乗馬技術の向上を図る。

(ア) 春・夏・冬休み、秋、こどもの日体験乗馬教室に対し、利用料金を減免する。 小学3年生～高校生までを対象に開催

(イ) 親子の体験乗馬教室(年3回)

こども乗馬教室の開催前に初心者親子を対象に乗馬を始めるきっかけの場を提供し、楽しさ、家族の理解を深めてもらう。

(ウ) 乗馬少年団の活動

県内在住の小学5年生から高校生を対象に乗馬訓練を通して、青少年の育成に寄与する。

(エ) 引き馬乗馬、馬とのふれあい体験の移動教室

県内の養護学校、保育園(幼稚園)及びその他教育機関に出張してポニーによる引き馬乗馬又は馬とのふれあい体験が出来る機会の場を提供する。

#### ウ. 馬術競技の振興と競技技術の向上

施設を有効的に活用し、馬術競技の振興と競技技術の向上を図る。

(ア) 公苑乗馬大会の開催

乗馬技術の向上と利用者間の親睦を目的にした乗馬大会を5回開催する。

(イ) 日本馬術連盟認定B・C級騎乗者資格技能審査会の開催

馬事知識および乗馬技術向上のため、県馬術連盟の協力を得て実施する。

#### エ. 福祉、教育機関との連携協力

乗馬を通じた青少年の育成、動物とのふれあいなどの教育活動に協力する。

(ア) 各地の学校、育成団体及び保育園等による乗馬体験、引き馬乗馬体験

(イ) 福祉施設や教育機関等が行う障害児・不登校児・自閉症児の乗馬体験活動には、ほぼマンツーマン形式の指導による協力

(ウ) 高校生以下の団体の乗馬利用に対し、利用料金を減免する。

#### (3) 事業協力

ア. 群馬県馬術連盟主催馬術大会

ウ. 第66回国民体育大会

エ. 県民の日無料体験乗馬

オ. 第22回酪農畜産フェスティバル

カ. 国立大学対抗馬術大会

キ. 教育・福祉施設等への協力

ク. 地元富士見町との協調、協力体制

ケ. その他各種行事、取材等への協力

コ．周辺施設との協力体制

サ．群馬DC（デスティネーションキャンペーン）事業協力

平成23年度 群馬県馬事公苑事業計画

月	実施事業	協力事業
4	乗馬少年団入団式 春休み体験乗馬教室 B・C級騎乗者資格技能審査会 短期乗馬教室(4月期)	春季県馬術大会
5	ナイター乗馬開始(~10月) こどもの日体験乗馬教室 平日無料体験乗馬会 昼間体験乗馬2回コース 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	関東ブロックミニ国体選手選考県馬術大会 障害者乗馬大会
6	第1回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(6月期) 親子乗馬教室 あいぷろホースライディング交流会 ナイター体験乗馬2回コース	夏季県馬術大会 伊勢崎市教育研究所体験活動
7	夏休み体験乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	群馬DC協力事業(7月~9月)
8	第2回公苑乗馬(ナイター)大会 夏休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(8月期)	
9	第3回公苑乗馬大会 平日無料体験乗馬会 前橋市限定体験乗馬 昼間体験乗馬2回コース ナイター体験乗馬2回コース 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	伊勢崎市教育研究所体験活動 群馬DCイベント(馬との触れあい乗馬会)
10	親子乗馬教室 短期乗馬教室(10月期) あいぷろホースライディング交流会	酪農畜産フェスティバル体験乗馬 館林児童センター乗馬体験活動 赤城山麓いこいの里祭り体験乗馬
11	第4回公苑乗馬大会 秋のチャレンジ乗馬教室 親子乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬	秋季県馬術大会
12	冬休み体験乗馬教室 短期乗馬教室(12月期) 【年末営業】	国立大学対抗馬術大会
1	初乗り会 冬休み体験乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬 【年始営業】	
2	第5回公苑乗馬大会 短期乗馬教室(2月期) 親子乗馬教室 昼間体験乗馬2回コース	
3	春休み体験乗馬教室 短期乗馬教室ステップアップ特別乗馬 あいぷろホースライディング交流会 乗馬少年団終了式	早春県馬術大会

## 収支予算書

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：千円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増減	備考
事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
基本財産運用収入	3,218	3,218	0	
基本財産利息収入	3,218	3,218	0	県公募債運用
特定資産運用収入	12	60	48	
特定資産利息収入	12	60	48	退職給付引当運用
事業収入	46,466	42,503	3,963	
利用料金収入	38,614	35,467	3,147	施設利用料
企画事業収入	7,852	7,036	816	
乗馬教室収入	2,918	2,347	571	子供、大人教室
乗馬大会収入	3,100	3,110	10	5回開催
馬術技能審査会収入	241	246	5	日馬連B C級
少年団収入	1,560	1,280	280	13名
その他収入	33	53	20	
受託料等収入	39,570	38,570	1,000	
管理受託収入	39,570	38,570	1,000	指定管理者受託
雑収入	636	673	37	
受取利息収入	6	26	0	普通預金
雑収入	630	647	17	馬具取り次ぎ他
事業活動収入計	89,902	85,024	4,878	
2 事業活動支出				
事業費支出	75,445	71,999	3,446	
役員報酬	4,391	4,475	84	理事長
給料手当支出	32,921	32,085	836	職員
臨時雇賃金支出	9,187	8,872	315	臨職5人、審判員等
福利厚生費支出	6,879	6,470	409	法定福利、健康診断
旅費支出	110	75	35	事務連絡、研修会
報償費支出	320	300	20	大会賞品
需用費支出	4,568	4,409	159	
食糧費支出	292	292	0	大会参加者昼食
消耗品費支出	811	865	54	利用者用、施設管理
燃料費支出	345	340	5	軽油、灯油、ガソリン
印刷製本費支出	77	19	58	ポイントカード、利用券
光熱水費支出	2,204	2,187	17	施設使用
修繕費支出	839	651	188	施設修繕
原材料費支出	0	55	55	

(単位：千円)

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増減	備考
役務費支出	2,201	2,059	142	
通信運搬費支出	284	271	13	電話、切手等
宣伝広告費支出	710	582	128	情報誌、新聞広告
手数料支出	29	32	3	車検、B C級申請
保険料支出	1,178	1,174	4	馬傷害保険、車保険
飼育費支出	9,598	9,146	452	
飼料費支出	4,917	4,530	387	管理馬飼料
敷料費支出	1,581	1,598	17	オガ
装蹄費支出	2,100	2,048	52	装蹄
衛生費支出	600	540	60	薬品、病馬治療
飼育消耗備品費支出	400	430	30	管理馬用馬具
馬場整備費支出	150	0	150	馬場用砂等
馬購入支出	500	160	340	馬の更新
委託費	1,146	1,081	65	施設管理
使用料及び賃借料支出	172	192	20	コピー機リース他
消耗什器備品費支出	610	113	497	鞍、利用者用ブーツ等
租税公課支出	2,657	2,552	105	消費税等各種税金
雑支出	35	10	25	
管理費支出	10,998	11,136	138	
役員報酬支出	2,579	2,628	49	理事長
給料手当支出	4,855	4,986	131	職員
福利厚生費支出	1,142	1,152	10	法定福利、健康診断
旅費支出	108	114	6	役員、事務連絡
需用費支出	639	570	69	
食糧費支出	35	25	10	理事会、来客用お茶等
消耗品費支出	151	129	22	事務用品、コピー使用料
印刷製本費支出	4	3	1	
光熱水費支出	417	413	4	事務室
修繕費支出	32	0	32	
役務費支出	621	623	2	
通信運搬費支出	45	48	3	電話、切手等
手数料支出	576	575	1	会計士費用、振込手数料
委託費支出	217	237	20	施設管理
使用料及び賃借料支出	28	28	0	コピー機リース、NHK
消耗什器備品費支出	16	0	16	事務用機器
負担金支出	59	181	122	加入団体会費
租税公課支出	719	587	132	消費税、県民税等
雑支出	15	30	15	
事業活動支出計	86,443	83,135	3,308	
事業活動収支差額	3,459	1,889	1,570	



(単位：千円)

科 目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増 減	備 考
投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	3,189	3,103	86	
退職給付引当預金取崩収入	0	0	0	
賞与引当預金取崩収入	3,189	3,103	86	
投資活動収入計	3,189	3,103	86	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	6,648	5,341	1,307	
退職給付引当預金支出	3,424	2,152	1,272	当期要積立額
賞与引当預金支出	3,224	3,189	35	
固定資産取得支出	0	765	765	
車両運搬具購入支出	0	523	523	
什器備品購入支出	0	242	242	
投資活動支出計	6,648	6,106	542	
投資活動収支差額	3,459	3,003	456	
財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
短期借入金収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
短期借入金返済支出		0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
予備費支出	0		0	
当期収支差額	0	1,114	1,114	
前期繰越収支差額	13,912	15,026	1,114	
次期繰越収支差額	13,912	13,912	0	

(注) 1 借入金限度額 0円

2 債務負担額 0円